

I 事業の概要（地域の実情含む）

本校は小学部から高等部までの182名の知的障害の児童生徒が学ぶ特別支援学校である。児童生徒の出身地は、北上市、花巻市が8割を占め紫波町、遠野市、盛岡市等と遠方者が多い。また、本校は市街地から離れた西南に位置し、周辺は田畑で600m北には豊沢川が流れ、熊が毎年出没する人里離れた自然豊かな地域である。

本校が立地している地形は、川よりも標高が高くなっているため、過去の洪水の浸水地域から外れているが、花巻断層帯があり想定される地震の規模はマグニチュード7.4と推測されている。広範囲に被害が及ぶ地震災害が起きた場合、保護者の迎えや地域・行政の救助や支援を待つ間の対策が不十分であれば児童生徒職員の安全安心に関わる二次災害は拡大する地域となる。

以上のことから、避難訓練に加え、避難体験の拡大と生徒の自主的行動の育成、避難所開設に切り替わった時の職員の行動訓練、保護者への引き渡し訓練を複合し、総合防災訓練として実施する。

II 取組の概要

- 1 災害用伝言ダイヤル利用体験①（6月1日）
 - ・学校からメッセージを登録し、保護者、教職員が利用体験した。
- 2 いわての復興教育・防災教育研修講座への参加（6月4日）
- 3 岩手県防災教育研修会への参加（6月12日）
- 4 「安全確保行動1-2-3」の確認（7月2日）
 - ・全校朝会時にシェイクアウト訓練を実施した。
- 5 全校事前学習①（7月17日）
 - ・総合防災訓練の予告
 - ・災害時に教職員と協力して主体的に行動できるよう、当日活動する生徒（防災リーダー）の選出。
- 6 避難所開設運営支援班会議の開催（7月30日）
 - ・避難所開設時の各班の職務内容や関係物品、必要物品について協議・確認をした。
 - 【教職員140人】

- 7 防災リーダー（生徒）の事前学習①（8月29日）
 - ・児童生徒が主体的に行動できるよう防災係の役割と活動内容について、パワーポイントや実際の物品を使って確認した。
 - 【生徒12人、教職員3人】
- 8 防災アドバイザーとの打ち合わせ（8月30日）
 - ・実施要項を基に、事前の確認や準備、改良点について指導助言をいただいた。
- 9 災害用伝言ダイヤル利用体験②（9月1日）
 - ・学校からメッセージを登録し、保護者、教職員が利用体験した。
- 10 全校事前学習②（9月3日）
 - ・総合防災訓練の再予告
 - ・パワーポイントを活用し活動内容の確認を行った。
- 11 防災リーダー（生徒）の事前学習②（9月10日）
 - ・実際の物品を使って、非常用トイレ、ベンリーテントの設置、片付けの仕方を再度確認した。
 - 【生徒12人、教職員4人】
- 12 総合防災訓練の実施（9月11日）
 - ・大地震が発生しライフラインが寸断した想定での避難訓練、災害用トイレや非常食体験をおとした避難所疑似体験、生徒も主体的に参加できるよう防災リーダーの避難所体験、保護者を対象とした引き渡し訓練を実施した。
 - 【参加人数：教職員126人、児童生徒数173人、保護者36人、行政関係者20人、地域7人】



（防災リーダー・備蓄品運搬）